

研究会「陽電子プローブと構造材料」のご案内

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業

平成 28 年度第 1 回産総研微細構造解析プラットフォーム設備利用講習会

(兼) 平成 28 年度 陽電子ビーム利用材料評価コンソーシアム研究会

(兼) SIP-IMASM 第 5 回研究会 (革新的構造材料 先端計測拠点)

原子サイズの微小空隙 (欠陥) は、材料特性に影響を与えるため、材料開発時の評価が重要です。電子の反粒子である陽電子を利用して、金属・半導体・高分子材料等の様々な材料中の原子サイズの微小空隙 (欠陥) を評価することができます。

産総研では、陽電子プローブを所外研究者にご利用いただくため、ナノテクノロジープラットフォーム事業等をとおして公開しております。本研究会では、構造材料 (金属) への応用を軸に、陽電子やその他の量子 (高エネルギー X 線・中性子) プローブの利用法について学びたいと思います。

主催 : 産総研先端ナノ計測施設 (AIST-Nanocharacterization Facility: ANCF)

日時 : 平成 28 年 5 月 11 日 (水) 13 時 00 分 ~ 17 時 10 分

場所 : 産業技術総合研究所 つくば第 2 事業所 2-12 棟 2 階 第 6 会議室

参加費 : 無料 (懇親会 : 3,000 円)

研究会プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:05 | 開会の挨拶 野中 秀彦 分析計測標準研究部門 研究部門長 |
| 13:05-13:30 | 産総研 大島 永康 主任研究員
「高強度低速陽電子ビーム施設と利用例の紹介」 |
| 13:30-14:00 | 京都大学 杉田 一樹 助教
「陽電子を用いた鉄鋼材料の格子欠陥評価」 |
| 14:00-14:30 | 産総研 榑 浩司 主任研究員
「量子プローブを活用した水素材料研究」 |
| 休憩 (10 分間) | |
| 14:40-15:10 | 産総研 木野 幸一 主任研究員
「小型中性子源の設計検討」 |
| 15:10-15:40 | 長岡技術科学大 鈴木 一彦 教授
「陽電子・中性子による金属の破壊に至るプロセスの研究」 |
| 15:40-16:10 | 産総研 オローク ブライアン 主任研究員
「光子誘起陽電子消滅法の測定技術開発」 |
| 16:10-16:20 | 閉会の挨拶 鈴木 良一 分析計測標準研究部門 首席研究員 |
| 16:40-17:10 | 見学 |

研究会終了後 (17:30-19:30) 産総研内カフェ・ピクニックにて懇親会を行います。

皆様の参加をお待ちしております。(懇親会会費 3,000 円)

【参加申込について】

事前に申込みをお願いいたします。

氏名、所属名 (会社名)、部署名、連絡先 (E-mail、電話番号) を下記事務局あてにお送りください。

講演会のみ当日の参加申込みも可能ですが、懇親会の参加申込みは準備の都合上、4 月 28 日 (木) までにお願いいたします。

◆参加申込み・お問合せ : 分析計測標準研究部門 X 線・陽電子計測研究グループ

E-mail: pos_con-ml@aist.go.jp, 電話 : 029-861-1405